

市民の
物価高騰から暮らしを守る市政を

市長に小学校給食の通年無償化の要望書を手渡す日本共産党市議団(2025年2月4日)



2025年2月定例会

子育て・教育

小学校給食費

半年間無償を復活

定例会開催に先立ち、市長に小学校給食の年間を通しての無償化を実施するよう申し入れました。当初予算では4月から小学校給食費の半年間無償化が盛り込まれました。後半の半年間も、無償化を継続するよう議会で求めました。

中学校給食

一年間半額補助を継続

小・中学校の万博遠足

吹田市は実施せず

日本共産党は、子どもたちの万博遠足は、市として行かない判断をすることを求めています。

吹田市教育委員会が大阪府教育庁に出した40項目の質問に対して回答があったのは25項目のみ。市教委は、会場までの移動で混雑が見込まれるほか、昼食をとるスペースに空調設備のある場所が確保されていないなど熱中症対策に不安があり、団体の引率は難しいと判断し、児童生徒個人へチケットを配付する対応としました。

評価
できる
事業

新年度予算などについて紹介します

2025年2月定例会が、2月17日から3月24日までの会期で行われました。一般会計で約1800億円、下水道事業や国保など、特別会計をあわせると約2600億円の新年度予算案や条例案等が審議されました。物価高騰で多くの市民の暮らしも厳しくなっている中、日本共産党は不十分な物価高騰対策や、市民課業務の民間委託、障がい者福祉の予算削減の問題点を指摘し、新年度一般会計予算に反対しました。

反対

選択的夫婦別姓制度を安易に導入せず、
旧姓の通称使用の法制化等を求める意見書

日本共産党は

意見書の結果

日本共産党が提案

選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論の促進を求める意見書

選択的夫婦別姓制度を安易に導入せず、旧姓の通称使用の法制化等を求める意見書

日本共産党	大阪維新の会	公明党	自民党	吹田党	市民と歩む議員の会	参政党	立憲民主党
○	×	○	×	×	○	×	○
×	○	×	○	○	×	○	×

選択的
夫婦別姓制度意見動画は
こちら

現在法律婚の95%は女性が改姓しています。負担や不利益は、一方の性に重くのしかかっています。また生来の名字を続ける選択肢がないことは、アイデンティティの喪失による苦痛を与え、人格権にかかわるものです。法制審議会提言が出されて29年。選択的夫婦別姓を導入して困る人はおらず、通称使用の拡大で問題は解決しません。

夫婦同姓の義務は、明治民法で、家長による家族内序列がつくられ、女性は法的無能力者とされた社会で定められたものです。夫婦同姓である法律婚の方が、事実婚より絆が深いなどといった主張の根拠は不明です。

日本共産党は、「選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論の促進を求める意見書」を提案しましたが、否決されました。「選択的夫婦別姓制度を安易に導入せず、旧姓の通称使用の法制化等を求める意見書」には、反対しました。賛成多数で可決されました。



意見書の結果

日本共産党が提案

インボイス制度の廃止を求める意見書

物価上昇率を上回る老齢基礎年金の支給額の引上げを求める意見書

国連人権高等弁務官事務所への任意拠出金の使途から女子差別撤廃委員会を除外することの撤回を求める意見書

時間外労働に対する割増賃金の支払を定めた労働基準法第37条の教員への適用等を求める意見書

日本共産党	大阪維新の会	公明党	自民党	吹田党	市民と歩む議員の会	参政党	立憲民主党
○	×	×	○	○	○	○	○
○	×	×	×	×	○	×	○
○	×	×	×	×	○	×	○
○	×	×	×	×	○	○	○